

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和2年4月23日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- 肉質に関して、健康度の指標となるグリコーゲン含量は漁場によってばらつきがあるものの、全海域の平均値では3.0%となっており、状態は概ね良好であった。
- 貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度を示すa値の平均値は低かった。
- 昨年の大量へい死時にみられた外套膜の萎縮は確認されなかった。また、貝殻真珠層の褐変もみられなかった。

2 調査結果一覧

漁場*1	貝の種類	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体数
北部	日中交雑貝*2	3.2	-0.4	0
中部①	日中交雑貝	2.6	0.2	0
中部②	日中交雑貝	1.6	-1.6	0
南部	日本貝	2.9	0.0	0
南部	日中交雑貝	4.6	0.1	0
平均値		3.0	-0.3	

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- 4月から11月まで月1回（概ね第3週）、各漁場・種類毎に20個を調査。
- 愛媛県漁業協同組合連合会宇和島支部が、調査日約2日前に上記漁場で採取し持ち込んだアコヤガイをサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- グリコーゲン含量 (%)：アコヤガイの栄養の蓄積状況を示す指標で、数値が高いほど健康状態が良好。
- a 値：閉殻筋（貝柱）の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。